

## 第8章 今後の取組に向けて



## 1. 本市の歴史文化の特徴を共有の財産に

市制 100 周年を記念した様々な事業を通じて、本市の豊かな歴史文化を市民と共有することができました。本構想の策定は、これまでの文化財の保存・活用の取組や『新八王子市史』の編さん、各種イベントやワークショップ、アンケート等を通じて、歴史文化資源について把握し、次世代へ継承していくことの重要性を再認識する契機となりました。

本構想が本市の「歴史文化を活かしたまちづくり」の指針として機能するためには、行政のみならず市民や大学、企業等の多様な主体が積極的に参画することが不可欠です。そして、各々の参画を促すためには、本市の歴史文化の特徴やその魅力、個々の歴史文化資源の持つ価値を共有できるようにすることが重要です。

本構想では、本市各地区の歴史文化の特徴を捉え、八王子の歴史文化を語る特徴として関連文化財群「はちおうじ物語」をまとめました。これらを市民共有の財産として活用し、文化財の継承、地域の活性化、本市への誇りと愛着の醸成につなげていきます。さらに、歴史文化の特徴や魅力を景観形成や都市計画、まちづくり等の各施策と連携を図りながらその価値をさらに高め、広く発信することで地域振興や観光まちづくり等への活用、さらには SDGs (持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals) の目標達成にも貢献することが期待されます。



## 2. 文化財保存活用地域計画の策定と文化財の保存・活用の推進

本構想では、本市の歴史文化資源を幅広く把握し、その特徴を捉えた上で長期的な歴史文化資源の保存・活用についての基本的な考え方を示しました。今後、本構想に基づき、関係所管や外部関係団体との連携を図りながら、具体的な取組を展開していくための体制づくりや施策の実施計画となる文化財保護法に基づく「文化財保存活用地域計画」を策定します。

「文化財保存活用地域計画」には、本構想で示した文化財の保存・活用に関する基本方針を踏まえて、具体的な事業やその実施体制、取組の時期や内容等を記載します。また、計画期間を設定し、実施した文化財保存活用の取組を定期的に評価して計画を見直すことで、柔軟で順応的に取組を推進していきます。

### まちの記憶 8

### 呼ばわり山

#### ～尋ね人や失くした物が見つかるパワースポット～

奈良時代よりも前、<sup>あんかん</sup>安閑天皇の妃の行方がわからなくなった折、今熊山（上川町）で呼び戻せば見つかるというお告げがありました。そこで呼び戻し祈願をしたところ、妃が見つかったことから、今熊山は「呼ばわり山」といわれるようになり、山頂には今熊神社が建てられました。

人を探す手段に乏しかった江戸時代には、江戸は

もちろん、<sup>かずさ</sup>上総・<sup>しもうさ</sup>下総・<sup>じょうもう</sup>上毛等から多くの人々が祈願に訪れたといわれています。

人類の手が宇宙に届くようになった現代にも、「呼ばわり山」のお話があります。失くした物は「小惑星探査機“はやぶさ”」。

相模原市中央区にある新田稻荷神社の境内には、7メートルほどの土を盛って造った「呼ばわり山」と、八王子市上川町の今熊神社から勧請した「今熊神社」の社があります。小惑星探査機の初代“はやぶさ”が地球へ帰還する途中、平成17年(2005年)12月に通信が途絶え行方不明になってしまいました。相模原市にあるJAXAのプロジェクトリーダーはしばしばここを訪れて発見を祈願し、平成18年(2006年)1月に無事発見できたことが話題になりました。最先端のテクノロジーと信仰が結びついた興味深いエピソードです。



今熊神社の遥拝殿（上川町）

### 3. 八王子市における SDGs の取組

SDGs（持続可能な開発目標）は、経済・社会・環境の3つのバランスが取れた社会を目指すための国際目標であり、平成27年（2015年）9月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられているものです。

SDGsは、発展途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国々、人々を対象としており、2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成されています。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、達成に向けてすべての人々がSDGsを理解し、それぞれの立場で主体的に行動することが求められています。

国では、平成28年（2016年）に、内閣に「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置するとともに、同年に策定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」で、地方自治体の各種計画等にSDGsの要素を最大限反映することを奨励しています。

本市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」に掲げた基本理念「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」が、SDGsに掲げられている「持続可能な社会の実現」と方向性が同一であるため、本市においては「八王子ビジョン2022」に定めた49の施策を着実に実行することが、SDGsが掲げる17のゴールの達成に貢献するものと捉えています。

本構想は、市民の皆さんの貴重な財産である文化財を総合的に保存・活用し、次代に確実に継承していくことを目指しており、SDGsの17のゴールのうち特に関連が深い「4 質の高い教育をみんなに」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「15 陸の豊かさを守ろう」の達成に貢献するものです。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



